

酸素ファイターで湾の水質浄化に挑む

ベトナムの水産養殖業の生産安定と持続的成長に貢献(SDGs ゴール 6)

— 株式会社大栄製作所(愛知県豊橋市) —

国際協力機構(JICA)は、株式会社大栄製作所(愛知県名古屋市、森田通夫代表取締役会長)との間で、2020年2月に「ベトナム国高濃度気体溶解装置を用いた底質/水質改善に伴う水産養殖業改善事業の案件化調査(中小企業支援型)」における業務委託契約を締結し、調査を開始しました。

コロナ禍で渡航できなかった2年間を経て、本年5月にベトナム国フーエン省スワンダイ湾に同社の高濃度気体溶解装置(製品名:酸素ファイター)を設置し、湾の水底部に堆積するヘドロ及び水質を浄化する試験を行ってきました。

9月22日には、酸素ファイターを設置したソンカウ町でワークショップを開催しました。ワークショップには、フーエン省人民委員会、フーエン省天然資源環境局、ソンカウ町人民委員会ほか、フーエン省の水産関係企業、水産養殖業者、水産・環境保護に関連する機関・大学の代表者など、40人を超える人に参加いただきました。

参加者は、試験現場を見学後、水質と底のヘドロ層の状態変化を含む試験結果の発表を熱心に聞き、続く質疑応答は、当初計画の20分を大幅に超える60分にわたり実施され、水産養殖業者をはじめとする関係者の関心の高さが確認されました。

本年12月には、ベトナム国の関係者に日本での酸素ファイターが使われている現場を実際に見ていただく、本邦受入活動を予定しています。



設置された酸素ファイター



100m先から取水し、200m先で放水している



底質の改善具合がわかるように設置されたタンクの様子。表層は砂に変化している。



ワークショップの様子。参加した水産業者からは活発な質問が寄せられた。

本事業は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」として実施されています。案件化調査は、企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性を検討し、ビジネスモデルを策定するものです。将来的に、開発途上国の課題の解決・SDGs 達成と提案法人の海外事業展開との両立を図り、もって ODA を通じた二国間関係の強化や経済関係の一層の推進に資することを目的とします。

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部企業連携課 担当：佐藤
TEL:052-533-1387 FAX:052-564-3751
E-mail : Sato.Yasushi@jica.go.jp

日本の真ん中から世界へ
JICA 中部



<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>